

各 位

株式会社ヤマダホールディングス

## ベスト電器ブランド 海外事業展開38年！ シンガポール共和国・マレーシアに次ぐ3ヶ国目 インドネシア共和国への直営店舗の事業展開について

株式会社ヤマダホールディングス（本社：群馬県高崎市、代表取締役会長 兼 社長 CEO：山田 昇、以下、ヤマダホールディングス）は、ベスト電器ブランド（以下、ベスト電器）で展開する海外事業について、既進出のシンガポール共和国・マレーシアに次ぐ3ヶ国目として「インドネシア共和国」へ直営店舗の事業展開を進めます。ヤマダホールディングスは、日本国内市場の少子高齢化・世帯数減少等による市場環境の変化を見据え、東南アジア地域への事業展開拡大を進めてまいります。

インドネシア共和国での事業展開は、これまで現地企業にベスト電器の商標使用ライセンスを与え、国内に25店舗を運営していましたが、昨今の新型コロナウイルス感染症の影響による業績悪化を受け、インドネシア共和国での事業継続を目的として、(株)ベストシンガポール社を親会社とした、(株)ベスト エレクトリック インドネシア (PT.BEST ELECTRIC INDONESIA) を新たに設立し、直営店舗での事業の準備を進めております。今後の展開につきましては、2022年度内に7店舗、中長期的には約30店舗の出店、年商100億円を目指します。

ベスト電器の海外事業展開は38年の歴史と蓄積された経営ノウハウ、またキャリアを積んだ現地幹部社員がマネジメントを行う体制を構築しています。日本流の親切・丁寧な接客スタイルと海外ならではの商習慣を融合した経営スタイルが特長で、特に長年培った「ベスト電器ブランド」は、中上流顧客層から圧倒的な支持を受け日系小売業としての優位性を保っています。今後の海外事業マネジメントにつきましては、ヤマダホールディングス 海外事業部長 小野 浩司（兼務 (株)ヤマダデンキ 九州ヤマダ会長）を責任者に置き、拠点のシンガポールの情報収集力を活かし、アセアン諸国への事業展開拡大を狙います。

### ■ベスト電器海外事業展開の歴史

年	海外事業トピックス
1985年	・ベスト電器海外1号店（シンガポール）開店＝ヤオハンベスト商号にて。
1986年 ～1988年	・ブルネイ・香港・米国、マレーシアへ進出。ヤオハン・ベスト（出資比率＝70％：30％）にて。1988年以降、東南アジアの経済成長と共に出店加速。2年間9店出店。
1989年	・台湾 台中店出店（ヤオハン家電部を運営）
1991年	・タイへ進出（ヤオハンベスト社）
1992年	・インドネシアへ進出（ヤオハンベスト社）
1997年	・ヤオハンの倒産によりヤオハン・ベストをベスト電器子会社にて事業継承。シンガポール・香港・マレーシア3か国で、19店舗展開。
2005年	・インドネシア社設立 ・台湾泰一電気へ資本参加（台湾再進出～台湾ベスト社へ社名変更）
2006年	・ベスト電器コリア（韓国）に進出（e-コマース）。 ・ベトナム進出：FC契約（バンタイン社）～2009年まで ・シンガポールデジタル社設立。
2009年	・クエートに進出：FC契約（アルユーソフィ社）～2012年まで ・台湾ベスト社と現地のアクション社との業務・資本提携。 ・シンガポール社とインドネシアのバンガン社と業務・資本提携。
2011年	・香港事業をシティコール社（＝中国蘇寧）へ事業譲渡。
2015年	・インドネシア社株式を合併先バンガン社へ譲渡しFC提携へ。 ・シンガポール社の株式を合併先バンガン社より譲り受け100%子会社化。
2017年	・台湾ベスト社 事業停止
2021年	・新インドネシア社設立 ・シンガポール社 13店舗、マレーシア社 7店舗（2021年12月末時点）

■ 海外事業展開時の店頭（写真は1985年～86年撮影）



オーチャード店のTV売場



マレーシア・ペナン店の店頭



■ BEST 海外出店の概要（シンガポール・マレーシアの店舗数は2021年12月時点）



■ ベスト電器の店頭（写真は2019年撮影）



【本プレスリリースに関するお問い合わせ先】

株式会社ヤマダホールディングス 広報課 群馬県高崎市栄町1-1

TEL : 027-345-8947 / FAX : 027-345-8948 / Email : ymd\_kouhou@yamada-denki.jp